

## 都市整備部まちづくり推進課外環担当

## オープンハウス及び意見交換の場（滝坂小学校）の開催結果概要

## 1 概要

## (1) 日時，来場者数

- ア オープンハウス（地盤補修工事箇所の周辺にお住いの方）  
令和6年12月21日（土）午前10時～正午 6人
- イ 意見交換の場（地盤補修工事箇所の周辺にお住いの方）  
令和6年12月21日（土）午後1時～午後2時35分 13人
- ウ オープンハウス（シールドトンネル工事の状況等）  
令和6年12月20日（金）午後6時～午後8時 19人  
令和6年12月21日（土）午後3時30分～午後5時30分 5人
- エ 意見交換の場（シールドトンネル工事の状況等）  
令和6年12月20日（金）午後7時～午後8時 13人

## 2 意見交換の場での住民意見（地盤補修工事の状況等）

## (1) 地盤補修工事について

- ・地盤補修工事は1年の延長で終わるのか。
- ・地盤補修をどのような順番で進めていくのか。
- ・若葉町の資機材ヤードは、まだ解体途中の家屋もある状況だが、あと1年の工事期間の中でどのように使用していくのか。
- ・隣接地の地盤調査が公表されない。スピードを上げて確実に進めてほしい。
- ・気泡については、入間川からの発生に限らず気を付けてほしい。酸素濃度の計測には水上置換法の方が良いのではないか。
- ・市道E206号線の切り回しについて、通行止め及び補修はどのぐらいの期間がかかるのか。
- ・市道E206号線の切り回しについては、交通量が多い路線のため、安全対策をしっかりしてほしい。
- ・市道E206号線について、入間川の河川通路と市道の接続部の見通しが悪く危険なため、改善してほしい。
- ・補償・補修の対応状況について知りたい。相談を受け対応している60件は合意に至っていない件数という意味か。対応にスピード感がない。一年延長の期間で補償が終わるということか。
- ・空き家のねずみ対策を行ってほしい。

## (2) オープンハウス・意見交換の場等について

- ・開催頻度を増やしてほしい。
- ・これまでの外環被害住民連絡会・調布との対話から広く地域住民の意見を伺う場へ変えることについて、市はどのように考えているのか。移転した人も参加

できるようにしてほしい。

- ・新たな意見交換の場を設けることに賛成する。
- ・移転した人は参加すべきではない。
- ・これまでの市と住民との話し合いの経緯も見て、市と住民だけの会を開いてほしい。

(3) その他

- ・国土交通大臣は現場の視察にいつくるのか。
- ・本線シールド工事の再開の際、追加のボーリング調査を行うのか。
- ・広島での陥没などについて、原因究明が公表されたら、外環との違いから外環では起こらないことを説明してほしい。

3 意見交換の場での住民意見（シールド工事の状況等）

(1) 地盤補修工事について

- ・2年間で約3割しか地盤補修が進んでいないのに、1年程度の工期延長で終わるのか。1年程度の工期延長はもっと前に公表できなかったのか。
- ・1年程度の工期延長には、撤去期間も含まれるのか。
- ・今後の1年で地盤補修をどのようにスピードアップするのか。
- ・地盤補修のために稼働するマシンを増やすと周囲へ騒音・振動の影響があるのではないか。
- ・仮移転・買取を望まない人の土地の地盤補修はどうするのか。
- ・工事が進まない状況になった場合でも工事が終わるまで、入間川上部の管路はそのまま置かれるのか。
- ・家屋解体工事の順番はどうなっているのか。
- ・市道E206号線の切り回し完成時期はいつごろか。
- ・市道E206号線の地盤補修完了時期はいつごろか。
- ・入間川における気泡発生公表と気泡の採取方法を改めるべき。
- ・気泡発生についての見解を問う。
- ・ぶんぶん公園の代替公園の管理は事業者が行うべきではないか。
- ・国土交通省はトンネルを掘ることは共同事業者だが、地盤補修も共同事業者なのか。

(2) 事業の進捗について

- ・中央ジャンクション南側B・Fランプシールドマシンが仙川下を通過する概ねの時期を教えて欲しい。

(3) その他

- ・広島での陥没事故では地域全体の沈下量について点群データで示されている。外環でも同じような分析ができるような体制となっているか。